

農業と科学

1985

1

CHISSO-ASAHI FERTILIZER CO LTD



新しい農業動向に対応した

新しい商品と情報を!!

チッソ旭肥料株式会社
常務取締役・技術部長 柴田 観

明けましておめでとうございます。年頭にあたり、皆様様に、この年が佳い年でありますようお祈りするとともに、新年のご挨拶を申し上げます。

本誌「農業と科学」もお蔭をもちまして、[330]号を越すに至りました。これもひとえに、皆様の温かいご支援のたまものでございます。誌上を借り、心より御礼申し上げます。

我が国の農業をとりまく環境は益々、その厳しさを増し、生産・市場、両面に互り難しい局面に立たされています。

この様な厳しい情勢の中にあって、「明るさ」が感じられる2~3の話題を拾ってみますと、その1つは、「肥料取締法」の改正と、「地力増進法」が制定されたことです。現状を改善しようとするこれらの制度が、これからの日本農業に便宜と活力を与えてくれるものと信じます。

2つ目は、国の試験研究関係の組み替えが実施され、従来の個別の対応から、「総合農業の試験研究」へ転換されたことです。筑波の農業技術センターが更に拡充され、別途に、農業環境技術研究所と生物資源研究所が発足しましたが、世界で最高級を誇るこれ等の研究設備や、研究者が結集され新しい方向に向かおうとすることに、素晴らしいポテンシャルの盛り上がりを感じます。最新の生命科学や環境科学等の技術を駆使した新研究が、近い将来、従来になかった魅力ある農業世界を生み出してくれることを期待しております。

3つ目は、新聞情報によりますと、農作業の現場で活用出来る情報システムを確立するためのプロジェクトが農

林水産省を中心に検討されるということです。

これは、作物や家畜を対象に、各種生育診断や、病害虫診断法を開発し、的確な栽培、飼育管理を行ない、経営の総合管理に役立てるようになるのが狙いとのことですから、これこそ私共農業関係者にとって願ってもならぬプロジェクトであると思われれます。

現在直面している難局を打開することは決して容易ではないでしょうが、これらの新しい動きが、将来の日本農業に夢と希望を与えてくれることを期待し、その着実な運営と発展を希求して止みません。

本誌は発刊以来、「ユニークな栽培技術」や「当社で開発した新肥料」の紹介を中心に編集して参りました。皆様の暖かいご支援と、ご執筆いただきました諸先生のご協力によりまして、お蔭様で好個な文献として、時には皆様方の技術交流の資料として好評をいただいております。

これからも、魅力ある農業情報技術等を幅広く蒐集して、少しでも皆様のお役に立てるよう努力して参りたいと存じます。又、私共は今迄に、CDU・被覆燐硝安加里(ロング)・被覆尿素(LP)・パーミュキュライト床土用資材(与作)・樹木打込専用肥料(グリーンパイル)等を開発して、皆様にご愛用いただいております。引き続き新商品の開発に努力しておりますので、どうか今後共よろしくご指導、ご鞭撻をたまわりますようお願い致します。

最後に、皆様方のご多幸とご繁栄をお祈りして、新春のご挨拶といたします。